



東アフリカスポーツ事業 産学共同研究プログラム

概要

筑波大学TIAS（つくば国際スポーツアカデミー）が有する体育学の専門性および東アフリカ（ルワンダ・タンザニア・ウガンダ）出身卒業生とのネットワークと、CHEZAが有する東アフリカでの豊富なプロジェクト運営経験を活用し、共同研究プログラムとして東アフリカスポーツアカデミー事業を実施する。

目的

日本と東アフリカにてタレント発掘事業、スポーツ人材の交流、アスリートや指導者の育成を行うとともに、ルワンダにスポーツの各種研究や人材・テクノロジー・ビジネスのハブ（拠点）となる「東アフリカスポーツアカデミー」の創設を目指す。

背景・課題

優れた身体能力を持つアスリートや優秀な人材がいるものの、東アフリカ地域のスポーツ分野においては適切な指導やマネジメントを行う人材や基盤が十分に整っていない。日本が有するスポーツの育成や指導のノウハウや技術を伝えることは、現地のスポーツ振興に非常に意義が大きく、また貧困や失業といった現地の社会課題解決にも寄与する。

アプローチ

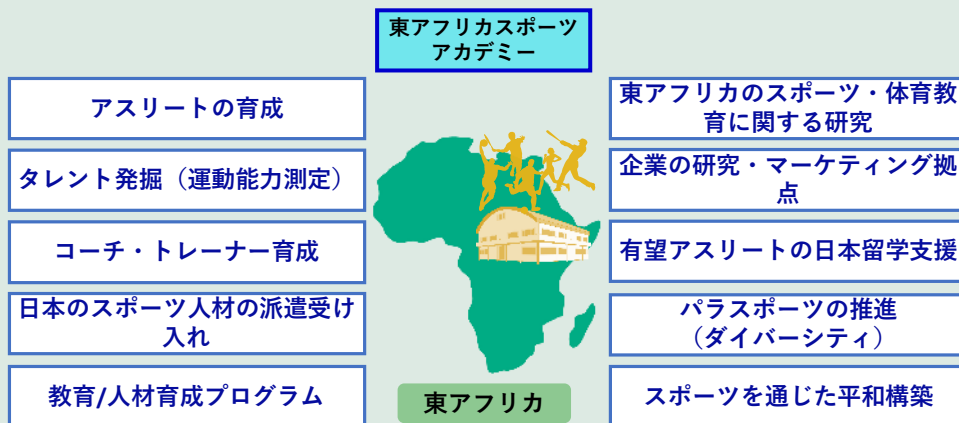
子どもたちが自分の身体的特性やスポーツの楽しさを知り、コーチングを通してスキルを向上、より適切なトレーニングへと繋げる。また、スポーツでエリートレベルに進めない子ども・若者たちにも教育や職業訓練を通じた将来への選択肢（パスウェイ）を提供する。

スポーツに関心を持つ

↓
指導（コーチング）

↓
トレーニング

事業モデル



- 体育学やスポーツ科学（スポーツマネジメント、コーチング、トレーニング、スポーツ医学、オリンピック/パラリンピック教育）の専門性
- 東アフリカ出身OB人材のネットワーク



- 東アフリカでの豊富なプロジェクト運営経験
- 現地ネットワーク
- エンジニア専門性
- スポーツビジネスノウハウ

東アフリカ（ルワンダ・タンザニア・ウガンダ）にて、優秀な学生のTIAS体育学群修士・博士課程へのリクルート、共同研究を実施する現地大学の研究者の特定

日本

タレント発掘（運動能力測定）

東アフリカと日本の運動能力比較分析研究

スポーツ人材のアフリカ派遣

プロジェクトの流れ

1年目（2020年）

- ・運動能力測定（日本）
- ・運動能力測定（ルワンダ）
- ・オンラインネットワーク：セミナー、調査、分析、論文

2年目（2021年）

- ・運動能力測定（日本）
- ・運動能力測定（ルワンダ）
- ・オンラインワークショップ：セミナー、講義、調査・分析・論文
- ・指導者育成プログラム

3年目（2022年）

- ・スポーツアカデミー設立（ルワンダ）
- ・運動能力測定（日本・ルワンダ）
- ・セミナー、ワークショップ、調査・分析・論文
- ・指導者育成プログラム
- ・アスリート育成プログラム